

事 前 評 価 調 書

I 事業概要																		
事 業 名	農業農村整備事業（防災ダム事業）																	
地 区 名	おはらいけ 小原池地区																	
事業箇所	知多郡美浜町大字奥田																	
事業のあらまし	<p>本地区は、美浜町の西部に位置するため池であり、小原池は地域のかんがい用水源として重要な役割を果たしている。</p> <p>しかし、堤体の耐震性不足や洪水吐の流下能力不足により、万一、決壊した場合には、下流の人家や公共施設等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、早急に地震対策及び豪雨対策を行い、ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p>																	
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <p>（基準雨量：399.2mm/日、1/200年確率雨量）</p>																	
事 業 費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th><th>内訳</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.9億円</td><td>■工事費 1.6億円、■用補費 0.0億円、■その他 0.3億円</td></tr> </tbody> </table>	事業費	内訳	1.9億円	■工事費 1.6億円、■用補費 0.0億円、■その他 0.3億円													
事業費	内訳																	
1.9億円	■工事費 1.6億円、■用補費 0.0億円、■その他 0.3億円																	
事業期間	採択予定年度 2021年度 着工予定年度 2022年度 完成予定年度 2024年度																	
事業内容	堤体工、取水施設工（緊急放流施設付）、洪水吐工 各一式																	
II 評価																		
①事業の必要性	<p>1) 必要性</p> <p>本地区のため池は、堤体の耐震性不足や洪水吐の流下能力不足により、地震時・豪雨時に決壊する恐れがある。</p> <p>このため、堤体・洪水吐等の改修や緊急放流施設の設置により、ため池の決壊を未然に防ぎ、農業生産の維持・農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>必要能力</th><th></th><th>小原池</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堤体の耐震化</td><td>安全率 1.2 以上</td><td>現況 計画</td><td>1.05 1.26</td></tr> <tr> <td>緊急放流施設の整備</td><td>放流時間 24h 以内</td><td>現況 計画</td><td>新設</td></tr> <tr> <td>洪水吐の改修</td><td>計画排水量 (m³/s)</td><td>現況 計画</td><td>2.93 6.20</td></tr> </tbody> </table> <p>また、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」（2015年9月農林水産省農振振興局整備部監修）に基づき算定したB/Cは10.59であり、基準値の1.0を超えている。</p>		必要能力		小原池	堤体の耐震化	安全率 1.2 以上	現況 計画	1.05 1.26	緊急放流施設の整備	放流時間 24h 以内	現況 計画	新設	洪水吐の改修	計画排水量 (m³/s)	現況 計画	2.93 6.20	
		必要能力		小原池														
	堤体の耐震化	安全率 1.2 以上	現況 計画	1.05 1.26														
	緊急放流施設の整備	放流時間 24h 以内	現況 計画	新設														
	洪水吐の改修	計画排水量 (m³/s)	現況 計画	2.93 6.20														
判定	A	A : 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B : 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。																
	【理由】	堤体の耐震性不足や洪水吐の流下能力不足等により、ため池決壊の危険性が高いことから、本事業により災害の未然防止を行うことが急務であるため。																

